開講時期	1 学	年1学期	対象学科	全学科	
科目名称	商業	簿記 I	授業の方法	講義および演習	
担当講師	【実務】	吉山 由美子			
単位数	6	単位	授業時間	108 時間	
口化小次协	必須	日本商工会議	· 所鵜主催:日商簿	記3級	
目指す資格 	推奨	全国経理教育	協会主催:商業簿	記 2 級	
授業概要	本的な商業	簿記を修得し、		須の基本知識」として、基 する企業活動や会計実務を ます。	
到達目標	日本商工会議所鵜主催:日商簿記3級 全国経理教育協会主催:商業簿記2級				
授業計画	第1章 簿記の基礎 第2章 記帳方法 第3章 簿記一巡 第4章 現金預金 第5章 商品売買 第6章 手形 第7章 その他の債権債務 第8章 貸倒れと貸倒引等金 第9章 有価証券 第10章 有形固定資産 第11章 資本金と引出金 第12章 収益・費用 第13章 伝票 第14章 試算表・精算表・財務諸表				
使用教材	商業簿記3級 テキスト (TAC) 簿記ワークブック3級 商業簿記(中央経済社) 日商簿記3級 過去問題集				
成績評価	1学期の全国検定試験結果、出席率、校内試験結果、授業態度、週末課題の提出等も含め総合的に判断します。				
講師のコメント	の知識の習			業務における実践的な簿記 引はいつでも大歓迎です。	

開講時期	1 学年	年2学期	対象学科	全学科	
科目名称	商業	美簿記Ⅱ	授業の方法	講義および演習	
担当講師	【実務】	吉山 由美子		-	
単位数	6	単位	授業時間	108 時間	
口化小次协	必須	全国経理教育	協会主催:商業領	<b>等記 2 級</b>	
目指す資格 	推奨	日本商工会議	<b></b> 所鵜主催:日商簿	<b></b> 章記3級	
授業概要	理解し、小	売・卸売業に止	まらず他業種に	として、複式簿記の仕組みを も応用できる資本の調達・運 の内容を理解できる。	
到達目標	全国経理教育協会主催:商業簿記2級取得 日本商工会議所鵜主催:日商簿記3級取得				
授業計画	第1章 現金・預金と債権債務 第2章 商品売買 第3章 特殊商品売買 第4章 手形 第5章 有価証券 第6章 固定資産 第7章 繰延資産 第7章 引当金 第8章 社債 第9章 株式の発行 第10章 剰余金の配当等 第11章 決算 第12章 本支店会計 第13章 伝票会計 第14章 帳簿組織				
使用教材	全経簿記能力検定試験公式テキスト2級(ネットスクール) 全経簿記能力検定試験公式問題集2級(ネットスクール) 簿記能力検定試験2級 過去問題集(全国経理教育協会)				
成績評価	2 学期の全国検定試験結果、出席率、校内試験結果、授業態度、週末課題の提出等も含め総合的に判断します。				
講師のコメント	越し繰延を	た行う決算整理		用勘定 (名目勘定全般) の見 う翌期の処理(再振替)がで 作成できます。	

開講時期	1 学生	生2学期	対象学科	全学科
科目名称	計	·算 I	授業の方法	講義および演習
担当講師	西平直樹	坂間俊朗		
単位数	1	単位	授業時間	18 時間
口化十次协	必須	計算実務能力	力検定3級(全経三	主催)
目指す資格 	推奨			
授業概要	先元帳・入	.出金伝票)と商	商業計算(割合の矛	上訳帳・総勘定元帳・仕入 長し方・損益・利息)の経 逐務の能力を学びます。
到達目標	計算実務能力検定3級(全経主催)取得			
授業計画	<ol> <li>1. 帳票計算         <ul> <li>①仕訳帳の計算</li> <li>②総勘定元帳の計算</li> <li>③付き先元帳の計算</li> <li>④仕入先元帳の計算</li> <li>⑤入出金伝票の計算</li> </ul> </li> <li>2. 商業計算         <ul> <li>①割合の表し方の計算</li> <li>②損益の計算</li> <li>③利息の計算</li> <li>③利息の計算</li> </ul> </li> <li>3.計算実務検定3級試験対策</li> </ol>			
使用教材	新刊 公式テキスト 計算実務3級			
成績評価	2 学期の受験結果、出席率、校内試験結果、授業態度、週末課題の提 出等を含め総合的に判断します。			
講師のコメント		担当者にとって頑張りましょう		<b>务の能力を問う検定試験な</b>

開講時期	2	学期	対象学科	全学科
科目名称	ビジネス能力 I		授業の方法	講義および演習
担当講師	【実務】	吉山 由美子		
単位数	2	単位	授業時間	36 時間
目指す資格	必須	日本商工会記	- 義所主催 ジョブ/	ペス検定3級
日相り貝俗	推奨	全国経理教育	育協会主催 社会)	人常識マナー検定試験3級
授業概要	基礎的なコ	ミュニケーショ		が提にビジネス常識および、 、ど、将来、職業人として適 、す。
到達目標	職業教育・キャリア教育財団主催 ビジネス能力検定ジョブパス 3 級取得 全国経理教育協会主催 社会人常識マナー検定試験 3 級取得			
授業計画	全国経理教育協会主催 社会人常識マナー検定試験3級取得 第1章 キャリアと豊かな仕事生活 第2章 服装と身だしなみ(ビジネスマナーII) 第3章 職場のコミュニケーション(ビジネスマナーII) 第4章 就業中のマナーII 第6章 話しの聞き方と指示の受け方 第7章 指示、報告と連絡・相談 第8章 話し方の基本 第9章 自己紹介と簡単なスピーチ 第10章 ことばづかい(敬語の使い方) 第11章 会議への参加と協力 第12章 電話対応 第13章 来客対応 第14章 名刺交換と面談の基本マナー 第15章 訪問のマナー 第16章 取引先とのつきあい 第17章 短婚葬祭のマナー 第18章 仕事に対する基本姿勢 第19章 仕事への取り組み 第20章 会社のルールと勤務条件			·

	第 22 章 ビジネス文書の基本
	第 23 章 社内文書の種類と役割(作成例)
	第 24 章 社外文書の種類と役割(作成例)
	第 25 章 社会常識を高める情報収集,分析
	第 26 章 表とグラフ
	第 27 章 業種・業界の知識
	第 28 章 会社の仕組みと売上・利益
	第 29 章 社会保険と税金
	第 30 章ビジネス能力検定 3 級試験対策
	日本能率協会マネジメントセンター 公式テキスト 3 級
使用教材	ビジネス能力検定3級公式試験問題集3級
成績評価	12月の受験結果、出席率、校内試験結果、授業態度等も含め総合的に
八八根計Ш	判断します。
	【実務】一般企業において、新入社員研修で実施されている、仕事の基
講師のコメント	本となる意識について、実践的な演習を通して学べます。

				情報処理科、情報システ		
開講時期	1 年	1 学期	対象学科	「自報処理件、自報シスケー ム科、キャリアカレッジ		
用曲时规	1年1学期		八			
				<u>科</u>		
科目名称	情報	処理 I	授業の方法	講義及び演習		
担当講師	仲村卓也	【実務】				
単位数	3	単位	授業時間	54 時間		
	必須			会主催 文部科学省後援		
   目指す資格			情報活用試験 3 約			
1117 3711	推奨	財団法人	専修学校教育振興会	会主催 文部科学省後援		
	111.70	情報検定・	情報活用試験 2 彩	及		
	情報化社会	が進む現在、忖	青報処理の知識を知	TTることは生活上でも必要		
授業概要	事項となっ	ている。本講	養では日常生活に清	替む情報処理について理解		
	する授業を進めていく。					
	コンピュー	タネットワーク	7社会において活動	かでき、適切な IT 技術や		
到達目標	ツールを選択し、目標達成あるいは問題解決のために情報収集・分析が					
判廷日保	でき、「実行計画の立案」から「プレゼンテーション」までができる総					
	合的な能力を修得する。					
	1. 情報表現と処理手順					
	2. パソコ	ンの基礎				
	3. インターネットの基礎					
授業計画	4. インターネットの利用					
[大小四	5. 情報機器の基本操作					
	6. 情報社会とコンピュータ					
	7. 情報モラル					
	口未必変物		トンター・			
使用教材	口平肥竿肠	会マネジメン L 絵佳		対等テキフト		
区/月4人们	J 検情報活用 3 級 完全対策テキスト					
D. Arts and Inc.	出席率、小テスト及び総合テスト					
成績評価						
	説明の際には、元 PG・SE としての実務経験を交え、想定される場					
= 株成のロフンパ	などを具体	いのに挙げなが	らテキスト内に出	てくる項目を紹介してい		
講師のコメント	く。各分野	終わることに、	小テストを実施し	、これを成績評価の参考に		
	する。					
	i .					

				はお加田が はお、ここ		
HH ⇒#: n +- ++n	1 /2	1 XX HH	71 & 77 TV	情報処理科、情報システ		
開講時期	1年	1学期	対象学科	ム科、キャリアカレッジ		
				科		
科目名称	情報	処理 II	授業の方法	講義及び演習		
担当講師	仲村卓也	【実務】				
単位数	2	単位	授業時間	36 時間		
口化十次均	必須		専修学校教育振興会 情報活用試験 2線	会主催 文部科学省後援 吸		
目指す資格	推奨		専修学校教育振興会 情報活用試験 1編	会主催 文部科学省後援 及		
	情報化社会	が進む現在、忙	青報処理の知識を知	旧ることは生活上でも必要		
授業概要	事項となっ	ている。本講	養では情報処理を月	月いた日常生活との関わり		
	授業を進めていく。					
	情報社会の仕組み、コンピュータと各種機器の役割, ソフトウェアの種					
到達目標	類と機能、インターネットおよび情報モラルと情報セキュリティアの基礎知識を身につける。					
	1. 経営戦	略とシステム単	线略			
	2. プロジ	ェクトマネジ	メント			
	3. データ構造と情報表現					
	4. 問題解決処理手順					
授業計画	5. パソコンの基礎					
	6. インターネットの基礎					
	7. アプリケーションソフトの利用					
	一般財団法	人 職業教育	 ・キャリア教育財団	]監修:		
使用教材		情報活用記	式験 1 級・2級 2	式テキスト		
	実教出版:情報活用試験2級公式問題集					
成績評価	出席率、小テスト及び総合テスト					
	説明の際には、元 PG・SE としての実務経験を交え、想定される場面					
講師のコメント				てくる項目を紹介してい		
		於わることに、	小アストを実施し	、これを成績評価の参考に		
	する。					

開講時期	1 年通年		対象学科	情報処理科、情報システ ム科、キャリアカレッジ 科	
科目名称	シス	アドI	授業の方法	講義および演習	
担当講師	仲村卓也	【実務】			
単位数	3	単位	授業時間	54 時間	
口化十次协	必須	サーティフ	ァイ主催シスアド打	支術者能力認定試験 3 級	
目指す資格	推奨	サーティフ	ァイ主催シスアド打	支術者能力認定試験2級	
授業概要		プロソフトの利		身を目標とする。表計算、S 識の修得をめざす。シスア	
到達目標	サーティファイ主催シスアド技術者能力認定試験3級 2級への足掛かりとする。				
授業計画	<ol> <li>コンピュータのしくみ</li> <li>インターネットのしくみ</li> <li>素計算のしくみ</li> <li>データベースのしくみ</li> <li>仕事とコンピュータ</li> <li>シスアド技術者能力認定試験3級試験対策</li> </ol>				
使用教材	一週間基礎レッスン初級シスアド超入門 シスアド技術者能力認定試験3級問題集				
成績評価	出席率、小テスト及び試験を考慮して総合的に判断する。				
講師のコメント	コンピュー	・タとソフトウュ	- アの基礎知識につ	いて学びます。	

開講時期	2 年通年		対象学科	情報処理科、情報システ ム科、キャリアカレッジ 科
科目名称	シス	アドII	授業の方法	講義および演習
担当講師	仲村卓也	【実務		
単位数	2	単位	授業時間	36 時間
口化十次协	必須	サーティフ	ァイ主催シスアド技	支術者能力認定試験2級
目指す資格	推奨	サーティフ	ァイ主催シスアド技	支術者能力認定試験 1 級
授業概要	ア開発、セ			又得を目指す。ソフトウェ 基礎知識の習得をめざす。
到達目標	サーティファイ主催シスアド技術者能力認定試験2級 1級合格への足掛かりとする			三試験 2 級
授業計画	<ol> <li>ソフトウェアのしくみ</li> <li>ハードウェアのしくみ</li> <li>ネットワークのしくみ</li> <li>表計算のしくみ</li> <li>データベースのしくみ</li> <li>ソフトウェア開発のしくみ</li> <li>セキュリティのしくみ</li> <li>OR・IE について</li> <li>シスアド技術者能力認定試験2級試験対策</li> </ol>			
使用教材	一週間基礎レッスン初級シスアド超入門 シスアド技術者能力認定試験2級問題集			
成績評価	出席率、授業内に実施する試験及び本試験の結果を考慮して総合的に 判断する。			
講師のコメント	テクノロジ についても		くテクノロジ分野の	D一部まで広げ、情報戦略

開講時期	学科に	より異なる	対象学科	全学科
科目名称	IT 実務 I		授業の方法	講義及び演習
担当講師				
単位数	2	単位	授業時間	36 時間
目指す資格	が サーティファ 日検:表計算		イ:シスアド技術	者能力認定試験3級 者能力認定試験3級
授業概要	情報処理 I、シスアド I、表計算 I、データベース I に関する総まとめを行う。			ベースIに関する総まとめ
到達目標	必須資格による検定の取得			
授業計画	以下の検定の模擬試験を実施する。 1:情報処理技術者能力認定試験3級 2:シスアド技術者能力認定試験3級 3:表計算3級 4:データベース作成3級			
使用教材	各種検定の模擬試験問題集			
成績評価	出席率、模擬試験の結果を総合的に判断			
講師のコメント		例を説明し、世		なりますが、問題の内容に ること (ニュースなど) の

開講時期	1 学年 1 学期		対象学科	情報処理科、情報システ ム科、キャリアカレッジ 科
科目名称	シスプ	テム開発	授業の方法	講義、演習
担当講師	仲村卓也	【実務】		
単位数	2	単位	授業時間	36 時間
目指す資格	必須		L理技術者試験 スポート、基本情	報技術者
	推奨	IPA:情報处	1理技術者 応用情	<b>青報技術者</b>
授業概要			野を中心に、コン € €を中心に学ぶ。	ピュータのシステム利用及
到達目標	情報分野の基本的知識や技能を身につけ、システムの設計・開発・運用 のサポート及び基礎的実践ができるようにする。			
授業計画	Part1: ヒューマンインタフェースとマルチメディア         Part2: データベース         Part3: ネットワーク         Part4: セキュリティ         Part5: システム開発技術         Part6: ソフトウェア開発管理技術			
使用教材	TAC:基本情報技術者 試験対策テキスト II【システムの利用と開発】			
成績評価	出席率、小テストと試験を総合的に判断			
講師のコメント	説明の際には、元 PG・SE としての実務経験を交え、想定される場面などを具体的に挙げながらテキスト内に出てくる項目を紹介していく。各分野終わることに、小テストを実施し、これを成績評価の参考にする。			てくる項目を紹介してい

開講時期	1 学年 1 学期		対象学科	情報処理科、情報システ ム科、キャリアカレッジ 科
科目名称	ハード・	ソフトウェア	授業の方法	講義、演習
担当講師	仲村卓也	【実務】		
単位数	2	単位	授業時間	36 時間
目指す資格	必須	IPA:情報処理 IT パス	型技術者試験 ポート、基本情報	技術者など
	推奨	他主催試験:	情報処理技術分野	を含む試験
授業概要		理解する上でのアの内容を学習		こ、コンピュータの仕組み、
到達目標	情報分野の基本的知識や技能を身につけ、システムの設計・開発・運用のサポート及び基礎的実践ができるようにする。			
授業計画	Part1:基礎理論 Part2;アルゴリズムとプログラミング Part3:コンピュータ構成要素 Part4:システム構成要素 Part5:ソフトウェアの概要 Part6:ハードウェア			
使用教材	TAC:基本情報技術者 試験対策テキスト I 【ベーステクノロジ編】			
成績評価	出席率、小テスト及び全体テストで判断する			
講師のコメント	などを具体	めに挙げなが	らテキスト内に出	験を交え、想定される場面 とてくる項目を紹介してい 、これを成績評価の参考に

開講時期	1学年1学期		対象学科	情報処理科	
科目名称	通信ネットワーク		授業の方法	講義、演習	
担当講師	仲村卓也	【実務】			
単位数	2	単位	授業時間	36 時間	
目指す資格	必須	IPA:情報処理技術者試験必須IT パスポート、基本情報技術者			
	推奨	IPA:情報处	D.理技術者 応用情	<b>青報技術者</b>	
授業概要		りも運用知識を野について学え		目いたマネジメント及びス	
到達目標		技術知識を利用し、開発管理及び情報戦略の立案・設計・運用のサポート及び基礎的実践ができるようにする。			
授業計画	Part1:プロジェクトマネジメント Part2:サービスマネジメント Part3:システム戦略 Part4:経営戦略 Part5:企業活動 Part6:法務				
使用教材	基本情報技術者 試験対策テキストⅢ【マネジメントと戦略】				
成績評価	出席率、小テストと総合テスト				
講師のコメント	説明の際には、元 PG・SE としての実務経験を交え、想定される場などを具体的に挙げながらテキスト内に出てくる項目を紹介してく。各分野終わることに、小テストを実施し、これを成績評価の参考する。				

開講時期	1学年1学期		対象学科	情報処理科	
科目名称	データ構造とアルゴリズム		授業の方法	講義、演習	
担当講師	仲村卓也	【実務】			
単位数	2	単位	授業時間	36 時間	
目指す資格	必須	IPA:情報処理技術者試験 基本情報技術者			
口拍力其作	推奨	IPA:情報如	1理技術者試験	応用情報技術者	
授業概要			ターンを確認しなれ ドの理解を深めてい	がら、様々なパターン例と いく。	
到達目標				解し、プログラミングを理	
授業計画	Part1:アルゴリズムの基礎 アルゴリズムとは何か、変数と定数、 基本制御構造その1~順次と分岐、変数どうしの内容の交換、 基本制御構造その2~繰返し、繰返しを用いた簡単な処理 引数と返却値、配列と繰返し処理、2次元配列、計算量 Part2:基本アルゴリズム 最大値・最小値を求めるアルゴリズム 基本アルゴリズム(探索)線形探索、2分探索 基本アルゴリズム(整列)選択法、交換法、挿入法、再帰、高度な整列アルゴリズム~クイックソート その他の整列アルゴリズム~文字列の照合、文字列の置換、文字列圧縮 Part3:データ構造 データ構造 データ構造の基礎知識、リスト、スタック、キュー、ハッシュ値、 木、2分探索木、ヒープ、木の巡回、B木、グラフ、最短経路探索 Part4:応用アルゴリズム 連続範囲の処理、構造体配列、順位付け、配列で数値表現、 文字列の区切り、ポインタ配列、画像データ処理、				
使用教材		ビットデータ(2 進数)の操作 TAC:基本情報技術者 試験対策テキストIV【アルゴリズム】			
成績評価	出席率、小	テスト及び総合	テスト		
講師のコメント	説明の際には、元 PG・SE としての実務経験を交え、想定される場面などを具体的に挙げながらテキスト内に出てくる項目を紹介していく。各分野終わることに、小テストを実施し、これを成績評価の参考にする				

開講時期	1 年次 2・3 学期		対象学科	情報処理科・情報システ ム科・キャリアカレッジ 科	
科目名称	JA	VA I	授業の方法	実習・講義・演習	
担当講師	田中 直	香【実務】			
単位数	2	単位	授業時間	36 時間	
日比子次枚	必須	校内検定 JAV	A プログラミング能力	認定試験3級	
目指す資格	推奨	サーティファ	イ JAVA プ ログ ラミンク	が 能力認定試験 3 級	
授業概要	*	の基本的な事は  題集で問題演習	、PC を使用して 習	実習形式。	
到達目標	*	Java <sup>TM</sup> に関する基本的な知識を有し、簡単なプログラムが書ける。 オブジェクト指向についての基本的な概念を理解している。			
授業計画	1. はじめの一歩 Java のプログラム・コード入力・プログラムの作成・実行 2. Java の基本 画面への出力、コードの内容、文字と数値、 3. 変数 変数、識別子、型、変数の宣言、キーボードからの入力 4. 式と演算子 式と演算子、演算子の種類、演算子の優先順位、型変換 5. 場合に応じた処理 関係演算子と条件、if文、if~else文、複数の条件を判断する、switch文、論理演算子 6. 何度も繰り返す for文、while文、do~while文、文のネスト、 処理の流れの変更 7. 配列 配列、配列の準備、配列の利用、配列の記述の仕方、配列変数、 配列の応用、多次元配列 8. クラスの基本 クラスの宣言、オブジェクトの作成、クラスの利用、メソッドの基				

	9. クラスの機能					
	メンバへのアクセス制限、メソッドのオーバーロード、コンストラク					
	タの基本、コンストラクタのオーバーロード、クラス変数、クラスメ					
	ソッド					
	10. クラスの利用					
	クラスライブラリ、文字列を扱うクラス、そのほかのクラス、クラス					
	型の変数、オブジェクトの配列					
	11. 問題演習					
	問 1~問 3 :20~30 分解かせて 20 分解説する					
問4~問5:20~30 分解かせて 20 分解説する						
	問 6 :20~30 分解かせて 20 分解説する					
	「やさしい Java」発行:SBクリエイティブ					
使用教材	「Java プログラミング能力認定試験 3 級過去問題集」					
	発行:株式会社サーティファイ					
	優:サーティファイ「Java プログラミング能力認定試験 3 級」合格					
	または、校内検定試験で 60 点以上					
	良:サーティファイ「Java プログラミング能力認定試験 3級」					
成績評価	5 0 点以上 または、校内検定試験で 50 点以上					
	可:サーティファイ「Java プログラミング能力認定試験 3 級」					
	40点以上 または、校内検定試験で 40 点以上					
	不可:試験の点数が 40 点未満					
	C 言語の基礎を学んだ後に行います。オブジェクト指向の基本を PC を					
講師のコメント	使った実習で確認をし、机上での問題演習を行います。					

開講時期	2年次2・3学期		対象学科	情報処理科・情報システ ム科・キャリアカレッジ 科	
科目名称	JA	VA II	授業の方法	実習・講義・演習	
担当講師	田中 直	香【実務】			
単位数	2	単位	授業時間	36 時間	
口化斗次协	必須	校内検定 JA	VA プログラミング能フ	力認定試験2級	
目指す資格	推奨	サーティフ	ァイ JAVA プログラミ	ング 能力認定試験 2 級	
授業概要		C を使用して実 題集で問題演習			
到達目標	ション、ア		切に書ける。オブ	きなプログラム(アプリケー ジェクト指向についての一	
授業計画	<ol> <li>新しいクラス</li> <li>継承、メンバへのアクセス、オーバーライド、Object クラスの継承、</li> <li>インターフェイス</li> <li>抽象クラス、インターフェイス、クラスの階層、</li> <li>大きなプログラムの作成 ファイルの分割、パッケージの基本、パッケージの利用、インポート</li> <li>例外と入出力装置 例外の基本、例外とクラス、例外の送出</li> <li>スレッド スレッドの基本、スレッドの操作、スレッドの作成方法、同期</li> <li>問題演習 問1~問3:20~30分解かせて20分解説する 問4~問5:20~30分解かせて20分解説する 問6:20~30分解かせて20分解説する</li> </ol>				
使用教材	問7:20~30分解かせて20分解説する 「やさしい Java」発行: S B クリエイティブ 「Java プログラミング能力認定試験 3 級過去問題集」 発行:株式会社サーティファイ				
成績評価	(要:サーティファイ「Java プログラミング能力認定試験 2級」合格 または、校内検定試験で60点以上				

	良:サーティファイ「Java プログラミング能力認定試験 2級」
	50点以上 または、校内検定試験で50点以上
	可:サーティファイ「Java プログラミング能力認定試験 2級」
	40点以上 または、校内検定試験で 40 点以上
	不可:試験の点数が 40 点未満
	Java の機能をしっかりと覚えて、オブジェクト指向のプログラムにな
講師のコメント	れるようにしてください。

	1			桂 + 17 fr 7 m 45
開講時期	1 学年 1 学期		対象学科	情報処理科・情報システム科・キャリアカレッジ 科
科目名称	Ci	言語 I	授業の方法	講義・演習・実習
担当講師	田中直	香【実務】		
単位数	3	単位	授業時間	5 4 時間
目指す資格	必須	校内検定(	こ言語能力認定試験	· <b>6</b> 3 級
日相り貝俗	推奨	サーティフ	ァイ C言語能力詞	忍定試験 3 級
授業概要			っ。C 言語の基本的 食定対策として問題	Jなことは、PC を使いなが 0集を使用する。
到達目標	C言語の概	念を理解し、簡	<b>育単なプログラム</b> か	゛書ける。
授業計画	<ul> <li>C言語の概念を理解し、簡単なプログラムが書ける。</li> <li>1. はじめの一歩 【1】 プログラムの仕組み・コードとは・プログラムの作成・実行</li> <li>2. C言語の基本【4】 コードの基本 (0.5)、画面への出力 (0.5)、文字と数値 (1)、練習問題 (1)</li> <li>3. 変数【5】 変数のしくみ・識別子 (0.5)、型 (0.5)、変数の宣言・利用 (1)、キーボードからの入力 (1)、練習問題 (2)</li> <li>4. 式と演算子【5】 いろいろな式と演算 (1)、演算子の種類 (1)、型変換 (1)、練習問題 (2)</li> <li>5. 場合に応じた処理【8】 関係演算子と条件 (1)、if文(1)、if~else文(1)、if~else if~else文(1)、switch文(1)、論理演算子 (1)、練習問題 (2)</li> <li>6. 何度も繰り返す【7】 for文(1)、while文(1)、do~while文(1)、文のネスト(1)、処理の流れの変更(1)、練習問題 (2)、</li> <li>7. 配列【7】 配列の基本 (0.5)、配列の宣言 (0.5)、配列の利用 (1)、練習問題 記述の仕方(1)、配列の応用 (1)、文字列と配列 (1)、練習問題</li> </ul>			

	0 19 十明度 0 明度供入 15 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				
	8. 過去問題の問題集を使って問題演習【17】				
	・第1回目(3.5)				
	問 1~問 3 :20~30 分解かせて 20 分解説する (1)				
	問4~問5:20~30 分解かせて 20 分解説する (1)				
	問 6:30~40 分解かせて 30 分解説する (1.5)				
	・第2回目 (3.5)				
	問 1~問 3 :20~30 分解かせて 20 分解説する (1)				
	問4~問5:20~30 分解かせて 20 分解説する (1)				
	問 6 : 30~40 分解かせて 30 分解説する (1.5)				
	・第3回目(3.5)				
	問 1~問 3 :20~30 分解かせて 20 分解説する (1)				
	問4~問5:20~30 分解かせて 20 分解説する (1)				
	問 6 : 30~40 分解かせて 30 分解説する (1.5)				
	・第4回目(3.5)				
	問 1~問 3 :20~30 分解かせて 20 分解説する (1)				
	問4~問5:20~30 分解かせて 20 分解説する (1)				
	問 6 :30~40 分解かせて 30 分解説する (1.5)				
	・第5回目(3)				
	問 1~問 3 :20~30 分解かせて 20 分解説する (1)				
	問 4 ~問 5 :20~30 分解かせて 20 分解説する (1)				
	問 6 : 20~30 分解かせて 20 分解説する (1)				
	「やさしいC」発行:SBクリエイティブ				
使用教材 使用教材	   「C言語プログラミング能力認定試験 3 級過去問題集」				
	発行:株式会社サーティファイ				
	優:サーティファイ「C言語プログラミング能力認定試験 3級」合格				
	または、校内検定試験で 60 点以上				
	良:サーティファイ「C言語プログラミング能力認定試験 3級」				
成績評価	5 0 点以上 または、校内検定試験で 50 点以上				
	可:サーティファイ「C言語プログラミング能力認定試験 3級」				
	4 0 点以上 または、校内検定試験で40 点以上				
	不可:試験の点数が 40 点未満				
	はじめてプログラミングをさわることを前提にプログラミング全体の				
	ことから、C言語を学びます。前半はパソコンを使って、テキストのサ				
講師のコメント	ンプル問題などを入力しながら身につけていきます。				
	後半は、試験対策のため、机上での学習が中心になります。				
	Del   B. 600 4514 6 2 1 10 T - 2 1 11 4 1 11 12 0 1 2 1 0 1				

開講時期	2年次1学期		対象学科	情報処理科・情報システ ム科・キャリアカレッジ 科
科目名称	C	言語II	授業の方法	講義・演習・実習
担当講師	田中 直	香【実務】		
単位数	2	単位	授業時間	36 時間
口化十次均	必須	サーティフ	ァイ C言語能力記	忍定試験3級
目指す資格 	推奨	サーティフ	ァイ C言語能力記	忍定試験2級
授業概要			<sup>?</sup> C を使用して実習 机上で問題演習を	
到達目標	小規模のプログラム(500 行程度)が適切に(理路整然、簡潔、正しく、速く)書ける。 また各種基本アルゴリズムを理解している。			理路整然、簡潔、正しく、
授業計画	また各種基本アルゴリズムを理解している。  1. 関数【8】 関数のしくみ(0.5)、関数の定義と呼び出し(1)、引数(1)、戻り値(1)、関数の利用(1)、変数とスコープ(1.5)、記憶寿命(1)、関数の宣言(1)  2. ボインタ【4】 アドレス(1)、ポインタ(2)、引数とポインタ(1)  3. 配列・ポインタの応用【6】 配列とポインタの関係(1)、引数と配列(1)、文字列とポインタ(1)、文字列の操作(2)、関数ポインタ(1)  4. いろいろな型【5】 構造体の基本(1)、構造体の記述の仕方(1)、構造体のサイズ(1)、構造体の応用(1)、共用体(0.5)、列挙(0.5)  5. ファイルの入出力【5】 入出力の基本(1)、いろいろな入出力関数(1)、ファイル入出力の基本(1)、バイナリファイルとランダムアクセス(1)、コマンドラインからの入力(1)  6. 2級過去問題集を使って問題練習【10】 ・第1回目(5) 問1~問3:20~30分解かせて20分解説する(1)			

	問 6:30~40 分解かせて 30 分解説する (1.5)					
	問 7 :30~40 分解かせて 30 分解説する (1.5)					
	・第2回目(5)					
問 1~問 3 : 20~30 分解かせて 20 分解説する (1)						
	問4~問5:20~30 分解かせて 20 分解説する (1)					
	問 6 : 30~40 分解かせて 30 分解説する (1.5)					
	問 7 : 30~40 分解かせて 30 分解説する (1.5)					
	 「やさしいC」発行:SBクリエイティブ					
使用教材	「C言語プログラミング能力認定試験 2級過去問題集」					
	発行:株式会社サーティファイ					
	優: サーティファイ「C言語プログラミング能力認定試験 2級」合格					
	または、校内検定試験で 60 点以上					
	良:サーティファイ「C言語プログラミング能力認定試験 2級」					
成績評価	5 0 点以上 または、校内検定試験で 50 点以上					
	可:サーティファイ「C言語プログラミング能力認定試験 2級」					
	40点以上 または、校内検定試験で 40 点以上					
	不可:試験の点数が 40 点未満					
	C言語 I の終了後、J A V A 言語 I を行ってから、C 言語の応用編とし					
講師のコメント	て行います。PC実習後に机上で問題演習します。					

			1		
開講時期	2年2学期		対象学科	情報処理科、情報システ ム科、キャリアカレッジ 科	
科目名称	Visua	l Basic I	授業の方法	講義、演習	
担当講師					
単位数	2	単位	授業時間	36 時間	
目指す資格	必須		コミュニケーション キスパート Exce		
口担り具怕	推奨		コミュニケーション キスパート Exce		
授業概要			注目し、本授業で 桟プログラムを組む	は Excel 上で使用できる知 P	
到達目標	身につけた知識を用いて、実務に則したテーマを設け、実際にプログラミングが出るようにする。				
授業計画	1:マクロと VBA の概念2:マクロ記録3:モジュールとプロシージャ4:VBA の構文5:変数と定数6:セルの操作7:ステートメント8:関数9:ブックとシートの操作10:デバッグ11:マクロの実行12:VBA の基礎13:Visual Basic Editor (VBE) の操作16:イベント17:ステートメント18:関数(操作)19:エラーへの対応20:UserForm21:メニューの操作22:Windows 機能を利用する23:レジストリの操作24:ファイル操作				
使用教材	オデッセイコミュニケーションズ: VBA エキスパート公式テキスト Excel VBA ベーシック VBA エキスパート公式テキスト Excel VBA スタンダード				
成績評価	出席率、試験を総合的に評価				
講師のコメント	工夫次第で	、Excel を使っ		ることができるので、習っ	

開講時期	2年2学期		対象学科	情報処理科、情報システ ム科、キャリアカレッジ 科
科目名称	Visua	l Basic II	授業の方法	講義、演習
担当講師				
単位数	2	単位	授業時間	36 時間
目指す資格	必須		コミュニケーション パート Access ベ	
日祖牙貝俗	推奨		コミュニケーション パート Access フ	
授業概要			注目し、本授業で ξ践プログラムを組	は Access 上で使用できる 引む
到達目標		知識を用いて、 るようにする。	実務に則したテー	マを設け、実際にプログラ
授業計画	1:VBA の基礎知識 2:データベースの基礎知識 3:変数・定数・配列 4:ステートメント 5:よく使う関数 6:DoCmd オブジェクト 7:フォーム・レポートの操作 8:イベントを使ったプログラミング 9:SQL 基礎 10:Visual Basic Editor の操作とデバッグ 11:データベース設計 12:変数・配列・ユーザ定義型・コレクション 13:プロシージャ・モジュール 14:フォームとレポートの操作 15:応用プログラミング 16:SQL 応用 17:ADO/DAO			ーートメント Cmd オブジェクト ション フォームとレポートの操作
使用教材	オデッセイコミュニケーションズ: VBA エキスパート公式テキスト Access VBA ベーシック VBA エキスパート公式テキスト Access VBA スタンダード			
成績評価	出席率、試験を総合的に評価			
講師のコメント	工夫次第で、Excel を使った業務を簡素化することができるので、習ったことが有効活用できる科目となります。			

開講時期	1 学	年1学期	対象学科	全学科
科目名称	ワープロ I		授業の方法	講義および演習
担当講師	神谷 茜			
単位数	2	単位	授業時間	3 6 時間
口化之次物	必須	日本情報処理	理検定協会主催 日	日本語ワープロ検定3級
目指す資格	推奨			
授業概要	ロソフトの 力を養い、	基本操作とブラ	ラインドタッチで3 ネス文書の仕組みを	Vordを使用し、ワープ 文字を正確に早く入力する ∵学習する。
到達目標	10分間に300文字以上を入力できる。 20分間で基本的な文書を作成することができる。			
授業計画	<ol> <li>Word2016とは</li> <li>Word2016の起動と画面構成</li> <li>Word2016の終了</li> <li>新規作成</li> <li>ページ設定とファイルの保存・読み込み・印刷</li> <li>文字・文章の入力と入力の訂正</li> <li>移動とコピー</li> <li>文書の作成 基本的な文書の構成</li> <li>文字の修飾、文字の拡大と縮小</li> <li>表を活用した文書の作成</li> <li>表の編集</li> <li>画像や図形を活用した文書の作成</li> </ol>			
使用教材	3 0 時間でマスター〇 f f i c e 2 0 1 6 (実教出版) 日本語ワープロ検定試験模擬問題集 3 ・ 4 級問題集			
成績評価	授業態度、検定試験の点数も含めて総合的に判断。			
講師のコメント				恵さと正確性です。ブライ 目標に頑張りましょう。

開講時期	1 学	年1学期	対象学科	全学科	
科目名称	ワープロ II		授業の方法	講義および演習	
担当講師	神谷 茜				
単位数	2	単位	授業時間	3 6 時間	
目指す資格	必須	日本情報処理 級・2級	検定協会主催 日本	本語ワープロ検定準2	
	推奨				
授業概要	ロソフトの 力を養い、	ワープロソフトにMicrosoft社のWordを使用し、ワープロソフトの基本操作とブラインドタッチで文字を正確に早く入力する力を養い、一般的なビジネス文書の仕組みを学習する。日本語ワープロ検定準2級・2級程度。			
到達目標	10分間に400~500文字以上を入力できる。 20分間で基本的な文書を作成することができる。				
授業計画	<ol> <li>ブラインドタッチの練習</li> <li>文書体裁(配置)</li> <li>表を活用した文書の作成</li> <li>表の線種の変更</li> <li>セルの網掛け</li> <li>セルの配置</li> <li>切り取り線の作成</li> <li>申込書等の作成</li> <li>日本語ワープロ検定準2級対策</li> <li>日本語ワープロ検定2級対策</li> </ol>				
使用教材	30時間でマスター〇ffice2016 (実教出版) 日本語ワープロ検定試験模擬問題集準2級・2級級問題集				
成績評価	授業態度、検定試験の点数も含めて総合的に判断。				
講師のコメント			本裁をしっかり習得いきましょう。	<b>寻して、最も伝えたいこと</b>	

開講時期	1年生2学期		対象学科	全学年
科目名称	文書デザインI		授業の方法	講義および演習
担当講師	神谷 茜			
単位数	2	単位	授業時間	36 時間
口长之次协	必須	日本情報処理	理検定協会主催	文書デザイン検定3級
目指す資格	推奨			
授業概要	含む基本的		/能力の習得を目標	描画処理、表の配置処理を 票とする。
到達目標	ワープロソフトの多くの機能を使用し、文書をデザインして資料を作 成することができる。			
授業計画	<ol> <li>文字・記号の入力(英数字の全半角など)</li> <li>フォントの変更(明朝、ゴシックなど)</li> <li>フォントサイズの変更(ポイントの変更)</li> <li>文字書体(太字、斜体など)</li> <li>文字の装飾(下線・囲み線・網かけ)</li> <li>文字の配置(左揃え、中央揃え、右揃え)</li> <li>図形描画(四角形、角丸四角形)</li> <li>図形内の文字入力(横書き)</li> <li>書式設定、印刷処理</li> <li>文字の拡大・縮小、均等割り付け</li> <li>画像の挿入(貼り付け)、画像の配置(左揃え、中央揃え、右揃え)</li> <li>図形描画(楕円、吹き出し、ブロック矢印、額縁など)</li> <li>表の挿入と配置</li> <li>文書デザイン3級試験対策</li> </ol>			
使用教材	文書デザイン検定試験模擬問題集3・4級			
成績評価	授業態度、検定試験の点数も含めて総合的に判断。			
講師のコメント	ワードの機に頑張りま		いこなして、簡単な	なチラシを作成できるよう

開講時期	1学	年1学期	対象学科	全学科
科目名称	表計算 I		授業の方法	講義および演習
担当講師	神谷 茜			
単位数	2	単位	授業時間	3 6 時間
口化斗次协	必須	日本情報処理	理検定協会主催 君	長計算検定4・3級
目指す資格 	推奨			
授業概要				表計算ソフトの基本操作 計算検定試験3級程度。
到達目標	与えられた情報を基に表を作成し、条件にしたがってグラフなどを作 成する技能を習得する。			
授業計画	<ol> <li>文字・数字の入力</li> <li>列幅変更</li> <li>計算式、合計・平均関数</li> <li>罫線処理</li> <li>表示形式(数字・数値の3桁ごとのコンマ・小数点、%表示など)</li> <li>表題・見出しの中央揃え・文字列の左揃え・数字の右揃え</li> <li>判断文</li> <li>絶対参照</li> <li>構成比率の計算</li> <li>最大値・最小値の検索(MAX・MIN)</li> <li>端数処理関数(切り捨て・切り上げ・四捨五入など)</li> <li>順位付け(RANK)</li> <li>通貨表示(¥・\$)・日付表示</li> <li>並べ替え(ソート)</li> </ol>			
使用教材	<ul><li>15. 表計算3級試験対策</li><li>30時間でマスターOffice2016 (実教出版)</li><li>表計算検定試験模擬問題集3級・4級</li></ul>			
成績評価	授業態度、検定試験の点数も含めて総合的に判断。			
講師のコメント		く感じるかもし きましょう。	しれませんが、焦り	らずゆっくり問題を解いて

開講時期	1 学生	F1学期	対象学科	全学科	
科目名称	表記	計算 II	授業の方法	講義および演習	
担当講師	神谷 茜				
単位数	2	単位	授業時間	36 時間	
口长之次协	必須	日本情報処理	理検定協会主催 君	長計算検定2級	
目指す資格	推奨				
授業概要			Excelを用い、 表計算検定試験準	応用関数やグラフ作成な <sup>生</sup> 2級・2級程度。	
到達目標	すでにあるデータや資料を活用して表を作成し、指示された内容をも とに自ら判断しながら情報をまとめる力を習得する。				
授業計画	<ol> <li>表検索(VLOOKUPなど)</li> <li>多重判断文(入れ子(ネスト))</li> <li>論理演算子(AND・OR)</li> <li>日付の計算</li> <li>セルの証明(セルの文字列化の印刷)</li> <li>グラフ作成(縦棒・横棒)</li> <li>表検索(VLOOKUPなど)の応用</li> <li>多重判断文の応用</li> <li>時刻の計算</li> <li>グラフ作成(多様なグラフ)</li> <li>表計算2級試験対策</li> </ol>				
使用教材	30時間でマスターOffice2016 (実教出版) 表計算検定試験模擬問題集準2級・2級				
成績評価	授業態度、検定試験の点数も含めて総合的に判断。				
講師のコメント			が複雑になってき ごきるようにしまし	ました。表検索と多重判断	

開講時期	1学	年1学期	対象学科	全学科	
科目名称	表	計算Ⅲ	授業の方法	講義および演習	
担当講師	神谷 茜				
単位数	2	単位	授業時間	3 6 時間	
口化十次协	必須	日本情報処理	里検定協会主催 君	長計算検定1級	
目指す資格	推奨				
授業概要			Excelを用い、 表計算検定試験準	応用関数やグラフ作成な <sup>1</sup> 級・1級程度。	
到達目標	すでにあるデータや資料を活用して指示された内容をもとに自ら判断 しながら、情報を処理する力を習得する。その結果を見やすい資料に まとめることができる。				
授業計画	<ol> <li>データベース関数</li> <li>結果データの保存または数式印刷</li> <li>文字列操作関数 (LEFT・RIGHT・CONCATENATE など)</li> <li>特殊関数 (ABSなど)</li> <li>抽出および抽出後のデータ処理 (合計・平均・ソートなど)</li> <li>データベース関数の応用</li> <li>表計算検定 1 級試験対策</li> </ol>				
使用教材	3 0 時間でマスターOffice2016 (実教出版) 表計算検定試験模擬問題集準1級・1級				
成績評価	授業態度、検定試験の点数も含めて総合的に判断。				
講師のコメント			データの入力速度 & 東習も欠かせません	と正確性が大切になってき	

開講時期	1 学	年3学期	対象学科	全学科
科目名称	データベースI		授業の方法	講義および演習
担当講師	神谷 茜			
単位数	2	単位	授業時間	3 6 時間
口化十次协	必須	日本情報処理	理検定協会主催	データベース検定3級
目指す資格	推奨			
授業概要	連の流れの			ン、データベース設計の一 能力と知識を身に付ける。
到達目標			ノ、目的とする情 <sup>幸</sup>	服を得る為の技能を習得す
授業計画	<ol> <li>まキストデータの読み込み</li> <li>テーブル定義(主キー・データ型の設定)</li> <li>複数テーブルの関連付け(内部結合)</li> <li>レコードの抽出</li> <li>レコードの昇順・降順の並べ替え(ソート)</li> <li>表題・見出し等の入力</li> <li>表示形式(コンマ・小数点・%・通貨・日付など)</li> <li>表のレイアウト</li> <li>野線処理</li> <li>印刷処理</li> <li>複数条件によるレコードの抽出</li> <li>複数条件によるレコードの昇順・降順の並べ替え(ソート)</li> <li>計算式</li> <li>関数処理(合計・平均・最大・最小・カウント)</li> <li>グループ化(集計)での合計・平均・最大・最小・カウントの処理</li> </ol>			
使用教材	よくわかるA c c e s s 2 0 1 6 基礎 データベース検定試験模擬問題集 3 級			
成績評価	授業態度、	検定試験の点数	<b>女も含めて総合的</b> に	三判断。
講師のコメント	データベー ようにしよ		既念を理解して、[	目的のデータを抽出できる

開講時期	1学	年3学期	対象学科	全学科	
科目名称	データベースⅡ		授業の方法	講義および演習	
担当講師	神谷 茜				
単位数	2	単位	授業時間	36 時間	
口化斗次协	必須	日本情報処理	理検定協会主催	データベース検定2級	
目指す資格	推奨				
授業概要	シップの設		)作成等の活用方法	ームの活用・リレーション Rを身に付ける。	
到達目標	データベースに蓄積された多くのデータを利用して必要なデータを選択し、状況に応じて計算やデータの加工を行うことができる。				
授業計画	<ol> <li>複数クエリの作成</li> <li>項目の非表示</li> <li>レコードの更新</li> <li>レコードの追加</li> <li>レコードの削除</li> <li>項目名ごとのグループ化</li> <li>データベース検定 2 級試験対策</li> </ol>				
使用教材	よくわかるAccess2016基礎 データベース検定試験模擬問題集2級				
成績評価	授業態度、検定試験の点数も含めて総合的に判断。				
講師のコメント			前と処理後の違いを ことができます。	を確認しながら、問題を解	

開講時期			対象学科		
科目名称	インター	ーネットI	授業の方法	講義および演習	
担当講師	神谷茜				
単位数	2	単位	授業時間	36 時間	
目指す資格	必須	サーティファ 験 初級	イ主催インターネ	ットユーザー能力認定試	
	推奨				
授業概要		送受信が行える		o ページの閲覧や検索、電	
到達目標	インターネットユーザー検定初級程度。				
授業計画	<ol> <li>コンピュータの基礎</li> <li>インターネットの概要</li> <li>ネットワーク</li> <li>インターネットの現状と将来</li> <li>Webブラウザ</li> <li>Webブラウザの基本操作</li> <li>Webコンテンツの利用</li> <li>WWW応用</li> <li>電子メールのしくみ</li> <li>電子メール利用基礎</li> <li>電子メール応用、活用</li> <li>インターネットへの接続</li> <li>ネット利用の注意点</li> </ol>				
使用教材	インターネットユーザー能力認定試験問題集				
成績評価	授業態度、検定試験の点数も含めて総合的に判断。				
講師のコメント					

開講時期			対象学科		
科目名称	インターネット II		授業の方法	講義および演習	
担当講師	神谷茜				
単位数	2 肖	单位	授業時間	3 6 時間	
目指す資格	必須	サーティフ 験 上級	アイ主催インタース	ネットユーザー能力認定試	
	推奨				
145 <del>24</del> 147 147 147 147 147 147 147 147 147 147				深めると同時に、様々なW	
授業概要			さる。また、インタ 哉した情報交換がて	ーネットの長所・短所を理 できる。	
到達目標					
授業計画	1. コンピュータの基礎 2. インターネットの概要 3. ネットワーク 4. WWWのしくみ 5. インターネットの現状と将来 6. Webブラウザ 7. Webブラウザの基本操作 8. Webコンテンツの利用 9. WWW応用 10. 電子メールのしくみ 11. 電子メール利用基礎 12. 電子メール応用、活用 13. インターネットへの接続				
使用教材	14.ネット利用の注意点 インターネットユーザー能力認定試験問題集				
成績評価	授業態度、検定試験の点数も含めて総合的に判断。				
講師のコメント					

開講時期	2 学	年1学期	対象学科	全学科	
科目名称	ホームページ I		授業の方法	講義および演習	
担当講師	神谷 茜		l		
単位数	2	単位	授業時間	3 6 時間	
口化十次均	必須	日本情報処理	理検定協会主催 **	ホームページ作成検定 3 級	
目指す資格	推奨				
授業概要	用し、標準	的な代替テキス	ト、リストや見出	じて、スタイルシートを利 し、メールリンクの設定を 学ぶ。ホームページ作成 3	
到達目標	基本的なHTMLと用意されたスタイルシートを利用して、ホームページを作成することができる。				
授業計画	<ol> <li>ページタイトル</li> <li>文字・記号の入力</li> <li>区切り線(水平線)の挿入</li> <li>画像の挿入</li> <li>代替テキスト</li> <li>表の作成、表の枠設定</li> <li>セルの結合</li> <li>見出しの設定</li> <li>リストの設定</li> <li>リンク(ページ間・メールアドレス)</li> <li>HTMLファイルにスタイルシートをリンク</li> <li>ファイルの保存</li> <li>ホームページ作成検定3級試験対策</li> </ol>				
使用教材	よくわかるホームページビルダー17(FOM出版) ホームページ作成検定試験模擬問題集3・4級編				
成績評価	授業態度、	授業態度、検定試験の点数も含めて総合的に判断。			
講師のコメント		·ジの基本的な( になりましょう		9単なページを作ることが	

開講時期	1 学	年1学期	対象学科	全学科	
科目名称	パワーポイントI		授業の方法	講義および演習	
担当講師	神谷 茜				
単位数	2	単位	授業時間	3 6 時間	
目指す資格	必須	日本情報処理 級	里検定協会主催 二	プレゼンテーション作成3	
	推奨				
授業概要	Microsoft社のPowerPointを用い、画像・表などを使用して、聞き手の理解を促すプレゼンテーション資料を作成することを目的とする。 プレゼンテーション作成検定3級程度。				
到達目標	プレゼンテーションソフトの多くの機能を活用し、前提と処理条件を 基に3枚のスライドを30分で作成することができる。				
授業計画	<ol> <li>複数スライドの共通設定 (スライド番号・背景の設定など)</li> <li>画像の挿入(貼り付け)</li> <li>画像の配置</li> <li>図形描画(吹き出し、ブロック矢印など)</li> <li>表の挿入と配置</li> <li>表の加工(線種など)</li> <li>アニメーションの挿入(ストリップ、ワイプ、ランダムストライプなど)</li> <li>プレゼンテーション作成検定3級試験対策</li> </ol>				
使用教材	3 0 時間でマスターO f f i c e 2 0 1 6 プレゼンテーション作成検定試験模擬問題集 3 ・ 4 級				
成績評価	授業態度、	検定試験の点数	女も含めて総合的に	-判断。	
講師のコメント		プレゼンテーミ 学ぶことができ		いるのかを意識しながら作	

目目⇒無用士・廿口			か 名 坐が		
開講時期			対象学科		
科目名称	ウィンドウズ I		授業の方法	講義および演習	
担当講師	神谷茜				
単位数	2	単位	授業時間	3 6 時間	
目指す資格	必須	サーティファイ主催 Windows®操作技能認定試験 レベル認定			
	推奨				
授業概要	Microsoft社のWindowsの多様な機能、Windows上のさまざまなアプリケーションソフトの操作に関する標準的な技能を修得することを目的とする。				
到達目標	ウィンドウ	ズ検定3級程度	デ <b>こ</b> o		
授業計画	1. マウス操作 2. ウィンドウの操作(ウィンドウ共通部品の役割の理解) 3. ダイアログ ボックス 4. ウィザード (指示に従い設定する) 5. メッセージボックス 6. ヘルプとサポート 7. 検索:ファイルやフォルダなどの条件に従い検索することができる。 8. タスクバー 9. [スタート] ボタン 10. マイコンピュータ 11. ゴミ箱・ブリーフケースの機能の理解				
使用教材	インターネットユーザー能力認定試験問題集				
成績評価	授業態度、検定試験の点数も含めて総合的に判断。				
講師のコメント					

開講時期			対象学科			
科目名称	ウィンドウズII		授業の方法	講義および演習		
担当講師	神谷茜					
単位数	2	単位	授業時間	3 6 時間		
目指す資格	必須	必須 サーティファイ主催 Windows®操作技能認定試 験 レベル認定				
	推奨					
授業概要	Microsoft社のWindowsの多様な機能の活用とともに、Windows上のさまざまなアプリケーションソフトの活用操作に関する応用的な技能を修得することを目的とする。					
到達目標	ウィンドウ	ズ検定2級程度	Ę.			
授業計画	1. ファイルの共通知識 2. フォルダの操作 [ファイル]・[編集]・[移動]・[表示]・[お気に入り]・[ツール]・[ヘルプ]メニュー等の各コマンドの意味を理解し、目的に応じた操作ができる。 3. エクスプローラ 4. エクスプローラバー 5. ハードディスク、フロッピーディスク ハードディスクやフロッピーディスク上、もしくは相互間でのファイル操作や、フォーマットなどを行うことができる。 6. 各メディアの特徴を理解している。(外部記憶装置) CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVDなど。 7. ショートカット ショートカット ショートカットの作成、ショートカットのプロパティ変更の操作ができる。					
使用教材	Windows 操作技能認定試験 問題集(98/Me/XP 対応)					
成績評価	授業態度、検定試験の点数も含めて総合的に判断。					
講師のコメント						

開講時期	1年次3学期		対象学科	全学科	
科目名称	パソコン会計 I		授業の方法	講義および演習	
担当講師	【実務】吉山 由美子				
単位数	2	単位	授業時間	36 時間	
口化小次协	必須 全国経理教育協会主催:コンピュータ会計検定3級				
目指す資格	推奨				
授業概要	パソコン財務会計ソフト(弥生会計ソフト)を使って、財務会計処理手順から伝票入力、元帳処理、財務諸表作成等について勉強します。				
到達目標	全国経理教育協会主催:コンピュータ会計検定3級取得				
授業計画	<ul> <li>I コンピュータ会計の知識</li> <li>1. コンピュータの知識</li> <li>(1)パソコン・会計ソフトの知識</li> <li>2. 簿記会計の知識</li> <li>(1)簿記、財務諸表の基礎知識</li> <li>3. 実務の知識</li> <li>(1)日常の商取引・税金・給与計算の基礎知識</li> <li>(2)出金処理</li> <li>(3)残高照会</li> <li>(4)振替処理</li> <li>4. 月次の処理</li> <li>(1)残高処理</li> <li>(2)振替処理</li> <li>(3)試算表・財務諸表の作成</li> <li>III 会計情報の活用(日常の管理)</li> <li>(1)売上状況・現金預金残高・代金回収状況のチェック</li> </ul>				
使用教材	コンピュータ会計(基本)テキスト(実教出版) コンピュータ会計 3 級過去問題集(実教出版)				
成績評価	会計データの入力・出力とバックアップ・リストア(復元)などの操作や単位認定試験の結果、出席率、校内試験結果、授業態度等も含め総合的に判断します。				
講師のコメント	【実務】商取引の基礎知識、財務諸表の基礎知識、入出金処理、残高照合、月次決算、売上状況、代金回収状況のチェックなど実践的に活用できる技能が習得できます。				

開講時期	2年次1学期		対象学	——— 科	総合ビジネス科	
科目名称	パソコン会計 II		授業の方	法	講義および演習	
担当講師	【実務】	吉山 由美子				
単位数	2	単位	授業時	間	36 時間	
口化十次协	必須 コンピュータ会計能力検定試験2級(全経主催)					
目指す資格	推奨 コンピュータ会計能力検定試験1級(全経主催)			<b>倹1級(全経主催)</b>		
授業概要	会計ソフトの知識 (繰越処理)、製造原価の考え方 (入力操作・製造原価報告書の作成) 消費税の知識 (課税・非課税・経理方式)					
到達目標	コンピュータ会計能力検定試験級取得(全経主催)					
授業計画	<ul> <li>I コンピュータ会計の知識 会計ソフトの知識</li> <li>2. 簿記会計の知識 製造原価の考え方</li> <li>3. 実務の知識 (1)資金の知識 (2)法人税等の知識 (3)消費税の知識</li> <li>II 会計処理</li> <li>1. 年次の処理 (1)決算処理 (2)決算書の作成 (3)繰越処理</li> <li>2. その他の処理 (1)導入処理 (2)剰余金の処分 (3)製造業</li> <li>III 会計情報の活用 (1)資金管理 (2)予算管理 (3)経営分析 (4)損益分岐点分析</li> </ul>					
使用教材	コンピュータ会計(応用)テキスト(実教出版) コンピュータ会計 2 級過去問題集(実教出版)					
成績評価	3 学期の単位認定試験の結果、出席率、校内試験結果、授業態度も含め 総合的に判断します。					
講師のコメント	会計ソフトの知識、法人税・消費税等の知識、導入処理、年次決算、繰 越処理、予算管理、経営分析、損益分岐点分析などを学びます。					

			T	1		
開講時期			対象学科			
科目名称	PC 実務 I		授業の方法	演習		
担当講師	神谷茜					
単位数	1	単位	授業時間	18 時間		
目指す資格	日本語ワープロ検定2級、表計算検定2級、データベ 必須 ス検定2級、コンピュータ会計検定2級、プレゼンテ ション作成検定2級、文書デザイン検定2級 推奨			計検定2級、プレゼンテー		
授業概要		ワープロII、表計算II、データベースII、コンピュータ会計II、プレゼンテーション作成II。文書デザインIIに関する総まとめを行なう。				
到達目標	各種検定試	各種検定試験 2 級取得。				
授業計画	1. 日本語ワープロ検定 2 級対策演習 2. 表計算検定 2 級対策演習 3. データベース検定 2 級対策演習 4. コンピュータ会計検定 2 級対策演習 5. プレゼンテーション作成検定 2 級対策演習 6. 文書デザイン検定 2 級対策演習					
使用教材	各種検定模擬問題集					
成績評価	授業態度、小テスト、検定試験の点数を含めて総合的に判断。					
講師のコメント	2級はそれぞれの科目の基礎となる部分です。しっかりと学習していきましょう。					
	_					

開講時期	第2学年		対象学科	全学科	
科目名称	マルチメディアI		授業の方法	講義および演習	
担当講師	大宜見	孝子【実務】			
単位数	2	単位	授業時間	36 時間	
	必須				
目指す資格	推奨 Illustrator®クリエイター能力認定試験 スタンダード Photoshop®クリエイター能力認定試験 スタンダード				
授業概要	メディアの作成、理論の学習を通じて、作り手の狙いや効果的なデザインを学ぶ				
到達目標	マルチメディアの用語が理解出来る。ポスターやロゴ等、簡単イメージを作品にすることが出来る。				
授業計画	講義項目 (講義内容が理解できる様)         1. Photoshopの基本         2. Illustratorの基本         3. 広告や資料の作成         4. Webページの作成         5. プレゼン資料の作成         6. 配色について         7. 制作について         8. Webプログラミングについて         9. プレゼンテーションについて				
使用教材	6 0 時間でエキスパート メディアデザイン プレゼン・W e b・グラフィック				
成績評価	出席80%以上必須 理解度小テスト80点以上(優)・70以上(良)・50以上(可)				
講師のコメント	情報過多の現在を、人に直観的に伝える為、マルチメディアは大変役立 つ技術です。頭の中の創造を形してください。				

開講時期	1年次2学期		対象学科	全学科		
科目名称	就職対策 I		授業の方法	講義および演習		
担当講師	【実務】吉山 由美子					
単位数	2 単位		授業時間	36 時間		
口化十次协	必須 就職活動(各種業種)					
目指す資格	推奨					
授業概要	就職活動全	就職活動全般について必要な事を総体的且つ実践的に体得する。				
到達目標	就職内定(希望業種)					
授業計画	<ol> <li>就職活動の心構え</li> <li>業界研究         <ol> <li>業界を理解しよう</li> <li>各業界の働く環境を知っておこう</li> <li>各業界の仕事を理解しよう</li> </ol> </li> <li>4 各業界の仕事を理解しよう</li> <li>職種研究         <ol> <li>企業の仕組みを知っておこう</li> <li>職種の理解を深めよう</li> <li>企業が求める人物像とは?</li> </ol> </li> <li>4.企業研究(Qナビ 毎ナビ リクナビ他)</li> <li>学内就職ガイダンスへの参加等</li> </ol>					
使用教材	業界と職種がわかる本 (成美堂出版) 就職活動オールガイド 面接の常識 2020 大学生の就職試験 小論文・作文の書き方					
成績評価	授業態度・面接練習において企業理解度や SPI・一般常識、就職活動状況によって評価します。					
講師のコメント	就職活動全般について必要な事を総体的且つ実践的に体得します。 就職に向けて学生個人が、明確な方向性を持ち行動する事で内定に繋 げるサポートをします。					